

手芸技法を用いた「被服実習」の可能性 —スモッキング—

A Consideration of Possibility of Clothing Practice Using a Handicraft Technique:Smocking Work

服飾美術学科 大塚 有里

1. 緒言

小学校・中学校・高等学校を通じて、「家庭」、「技術・家庭」の授業の総時間数が最も少ないことを危惧し、2010年9月に“生活やものづくりの学びネットワーク”が設立された。その趣意には、「子供たちの人間性豊かな成長は、手と頭、そして五感を使って、モノや人とかかわるとい生活そのものを実践することによって培われる。それを通して子供達は、自分に自信をもち、自分と他者、自分達と周囲の諸環境について考え、自立の基礎を身につけていきます。(中略)日本は今、少子高齢社会・高度情報社会を迎えるとともに、世界の人々とともに持続可能な社会を構築することが求められています。(中略)これらの教育を現実の生活に即して担ってきたのは、「家庭」、「技術・家庭」の教科です。(中略)これらの学びは、人間らしく成長し、かつ、未来の社会を担う子どもたちにとって軽視してはならない学びです。」¹⁾とある。

この趣意に賛同するとともに、衣生活に関する縫製や技術に関する内容が減少し、その内容に危機感があることは、既に何年も前から関係諸学会等で指摘されていることもあわせて、著者の専門とする手芸技法を生かした被服や小物の製作実習をあらためて考え、その可能性を探り、その結果を平成31年度より担当予定である教員養成課程科目の「被服実習」(本学短期大学部栄養科開設科目である中学校教諭二種免許状(家庭)の必修科目)に活かすことを本研究の目的とする。

そして、手芸的な要素は、被服や小物などの製作実習をする上で、作品や商品の価値を左右するものになり得ると考えるため、今回は、技術的な習得が容易でファッションにも表現しやすいスモッキングとラティス・スモッキングを取りあげる。手芸の起源は先史時代とされており、身を保護するために動植物の毛や繊維を利用して布を織り、それらを縫い合わせたり、紐を結んだりしながら身近にある材料を活かし徐々に装飾することが考え出されたと言われている。民族の習慣、信仰などと密接につながって発展し、新しい技術が生み出されてきたのである。人々の手から手へと長い年月を経て受け継がれてきた現在では、実用というよりは装飾する、あるいはオリジナリティを出すという付加価値をつける意味合いが強いことや、最近では、英国王室のシャーロット王女殿下(Her Royal Highness Princess Charlotte Elizabeth Diana of Cambridge 2歳、2015年5月2日-)がスモッキングのワンピースを着用し、可愛らしい姿を各種メディアに披露するなど、名称を知らずとも普段から何気なく目にしていると考えられることも、この技法を取り上げた理由に加えたい。

2. 技法について

2-1 スモッキング (smocking)

ひだ飾り、しめ飾りの意味で、布に細かいひだをつくり、そのひだ山をすくいながら、刺繍糸で表面からかがりを施す技法である。単に「スモック」、あるいは「ひだとり刺繍」とも称される。イギリスのアングロ・サクソン時代から農作業着に用いられた丈の長い、ゆったりとした上着の身頃、ヨーク、袖口部分に施されたのが始まりであるとされ、「イングリッシュ・スモッキング」と言われることもある。布に

正確な美しいひだ山をつくることが重要であり、水玉、チェック、縞などの等間隔の模様のある布や編地を利用して刺繍すると効果的であり、作業も早い。これらの柄布は綿素材が多く、カジュアルな雰囲気を作り出す。無地の場合には印をつけて用いる。予め下縫いをしてから刺繍するものと、直にひだをとりながら刺すものがあり、後者の方が容易である。代表的なDiamond Stitch、Wave Stitchを図に示した。

図1

2-2 ラティス・スモッキング (lattice smocking)

ラティスは格子形紋章、格子窓の意で、布の裏面に格子の線を引き、次に対角線を入れ、対角線の角と角を手縫い糸等で縫い合わせて布をひき締めていくスモッキングの一種である。そこからこの名が由来している。表面に立体的な浮彫り調の模様を作りだせるのが特徴である。しわになりにくい素材やサテンなどの表面に光沢がある生地に施すことが多いため、陰影や奥行きが出て、2-1のスモッキングより、エレガントな雰囲気を作り出すことが可能となる。代表的な模様3つを図に示した。 図2

3. 方法

3-1 アンケート調査

服飾美術学科の現行カリキュラムの服飾工芸区分にある1年次後期開設科目「ニードルアートⅠ」(1単位)、2年次前期開設科目「ニードルアートⅡ」(1単位)において、時間的な制約等があることから、スモッキング技法を実習要目から、やむなく外している。しかし、欧風刺繍の知見に広がりを持たせ正確な技術を伝承するということから、少人数ではあるが4年次に手芸研究室に配属になったゼミナールの学生には、スモッキングとラティス・スモッキングの基礎技法を体験・習得させ、さらに卒業研究やその他の製作に活かすことをねらって指導している。綿素材のチェックの布と刺繍糸で、基礎技法の体験・習得後に、この学生らを対象にアンケート調査を実施し、技法の認知度や体験後の感想を分析する。 表1

実施日：平成29年7月12日(水) 4限、基礎技法70～80分、アンケート回答10～20分

対象者：平成29年度服飾美術学科4年 手芸研究室ゼミナールⅠ・Ⅱ履修の女子学生11名

3-2 教科書の製作実習の内容

文部科学省検定済教科書である開隆堂の中学校技術・家庭科用「技術・家庭 家庭分野」、高等学校家庭科用「家庭基礎 明日の生活を築く」、「家庭総合 明日の生活を築く」の3冊(平成29年発行の最新版)を対象に、「衣生活」「着る」等の項目にある製作実習を調査し、現状の内容の把握に努める。

3-3 作品製作

上記、3-1のアンケート調査の回答、3-2の教科書の製作実習の記載内容をもとにして、家庭科教員として教壇に立ち、家庭科関連の授業の中で中学生や高校生に教授する学生の姿を視野にいれ、諸言で述べた「被服実習」における今後の展望を調査・整理後、作品製作を行う。

製作期間：平成29年7月～11月

4. 結果と考察

4-1-1 スモッキング

・名称について 知っている 4名(36%)、知らない 6名(55%)、未回答 1名(9%)

・技法について 簡単だった 8名(73%)、難しい 1名(9%)、未回答 2名(18%)

結果を図に示した。 図3-1、図3-2

- ・簡単だった理由 (8名)
布をすくう位置さえ間違わなければ形になり可愛らしく、どんどん進めたくなる (2件) / 格子柄の交点と交点をつないで刺していくだけで模様になっていくから (2件) / 刺繍針を刺すところが規則的だから / チェックを用いたため目印があるから / 同じ作業の繰り返しのため / チェックだったので簡単だった
- ・難しかった理由 (1名)
縦方向は糸をそのままの長さで渡し、横方向は布を寄せながら糸を引き締めていくのが難しい
- ・この技法の可能性 (8名)
子供服に刺繍したい (2件) / 幼児用ワンピースにして友人の子供へのプレゼント / シャツやブラウスなどの袖や胸元に施す / 人形の服を作りたい / ギャザーの代用 / スカートやシャツのダーツの代わり / 服のボリュームを出したい部分に使う / 巾着を作る / かばんやポーチなどに使用したら素敵で可愛い

スモッキングという名称を知らない学生が半数以上を占めたことは、予想に反し残念な結果であったが、実際に試し刺しを経験すると、刺繍糸と刺繍針の位置関係の理解が早く、コツをつかんで手を動かしている様子がうかがえた。ひだを寄せて刺繍糸を引く感覚に慣れてしまえば、比較的容易な技法であることがわかる。経験が少ないにも関わらず、多くが服の一部として、少数には服飾小物として、様々なアイテムに活かせるというイメージが浮かんでいるようであった。

4-1-2 ラティス・スモッキング

- ・名称について 知っている 1名 (9%)、知らない 10名 (91%)
 - ・技法について 簡単だった 8名 (73%)、難しい 2名 (18%)、未回答 1名 (9%)
- 結果を図に示した。 図4-1、図4-2

- ・簡単だった理由 (8名)
一定のリズムで縫っていくだけであり、凝った作品に見えるものほど簡単だった (2件) / 繰り返しの作業だから (2件) / 面白くて広範囲に進めたくなるほど単純な作業だった / 複雑に見えたが実際の手の動きは単純だった / 等間隔に繰り返すことで模様が出るから / スモッキングに比べると布をすくって糸を引き締めるだけできれいな柄が作れるから
- ・難しかった理由 (2名)
布の裏面に線を引き力加減が難しく、布なので線や間隔がゆがむから / 糸を引きしめた後の布の立体の形を整えるのが大変だったから
- ・この技法の可能性 (9名)
袖やスカートの裾などの洋服の一部 (2件) / 無地の服のワンポイントとして / 綿布などの光沢の無い生地でクッションカバーなどを作るとカジュアルに使用できる / ポケットやカフス / バッグ / 小物入れ / 袋 / クッション

ラティス・スモッキングは、ファッションデザイナーがシーズンに先駆けて開催する国内外の春夏/秋

冬のコレクション（ショーや展示会の作品群）の中にも、時々見かける技法ではあるが、学生たちの認知度はとても低く、残念な結果に終わっている。服飾美術学科の学生であれば、他学科の学生たちに比べてファッション雑誌の頁をめくる頻度は高いと予想されるが、自主的に技法を調べるまでには至っていないことも浮き彫りになった。こちらは、今後の検討課題としたい。

技法的には、規則的にかがる糸を引いていくだけという簡単なものではあるが、歪みやすい布の裏面に格子状の線を正確、かつ均等に引く下準備の段階で、大変さや苦手意識を覚えていることがうかがえる。服や小物、インテリアなどの多様なアイテムに活用できるというイメージはつかめているようであった。

4-2 教科書の製作実習

中学校用教科書「技術・家庭 家庭分野」の製作実習は6点、高等学校用「家庭基礎」は2点、高等学校用「家庭総合」は5点であった。それぞれの製作実習の応用例や展開例が示され、さらに発展させた内容も記載されている。合計13点の内訳は、大別すると、物入れ系が9点（69%）、被服系が4点（31%）であった。教科書に記載されている製図の形状からみると、直線のみが9点（69%）、曲線が含まれるものは4点（31%）であった。「製図作成や縫製が容易な実習例を掲載していること」「中・高生が裁縫にそれほど苦手意識を持たずに製作が完了できるものであること」「この教材を教える側の家庭科教員にも指導しやすいものであること」が確認された。 表2

4-3 作品製作と評価

アンケート調査の結果をもとに、名称の認知度が上回り、技術的にも難しいという回答がやや少ないスモッキング技法を用いて作品製作を行った。作品形態は、教科書の製作実習をまとめた結果（表2）から、直線縫いの製作が多いことが導き出されたため、刺繍後の縫製がしやすい直線を主とした小物入れとしての使用も可能である「ハンカチケース」（12.5×16cm）、カフェエプロンまたはウエストエプロンとも称される「大人用前掛け」（丈50×ウエスト44×裾86cm）、「幼児用サマードレス」（着丈39cm）の3点とし、ミシン縫製を主に一部は手縫いである。 図7

材料は、一般的な材料店において低価格で入手可能である水玉、チェックの綿布と25番刺繍糸（綿糸6本のうちの3～4本どり）である。刺繍糸は少し太めにするとひだのおさまりが良くなる。横幅の用尺は、布の厚みやひだの深さによって異なるが、仕立て上がりの約2倍から4倍、長さ（縦）は、1.1～1.2倍が必要である。小物の場合は、スモッキングを刺し進め、刺繍の柄が左右あるいは上下対称となる良い加減のところで糸留めする。服の場合は、実際の布に部分的なスモッキングを施し、表面の刺繍の寸法に対して必要な横幅をあらかじめ見積もることが大切である。どちらの場合も刺繍を終えてから蒸気アイロンをかけて整え、刺繍の上下のひだをシルクピンで留めたり、しろもなどでタック状におさえ、作品のサイズを確認し仕立てる。スモッキングの表面には、Bullion Rose Stitch、Bullion Knot Stitch、Daisy Stitchなどを用いて小花や葉を刺繍し、スモッキングをより効果的に表現した。これは、ひだを整える役割も期待される。 図8

次に、アンケートを依頼した学生らに完成作品を提示し、評価を行った。今回は、評価基準が難しいこともあり、感想を述べるにとどめた。その結果、「少し刺繍があるだけで服が可愛らしくみえる」「（同じように製作しても）同じものにはならない可能性が大きく個性的である」「単にひだを寄せただけとは思えないほど複雑な刺繍に見える」「手芸の良さを感じる」「作品に取り入れたい」「完成品はどれも簡単な四角形であり、仕立ては比較的容易なため、刺繍に時間をかけられる」などという概ね好意的な評価を得ることができた。

	a. Diamond Stitch	b. Wave Stitch
図案		
生地	チェック (1 cmに 1.5 マス)、水玉模様 	チェック (1 cmに 6.5 マス)、小花模様
表面		

図1 スモッキング サンプル (図案²) 以外は著者製作・撮影)

	サンプル a	サンプル b	サンプル c
図案			
表面			
裏面			

図2 ラティス・スモッキング サンプル (図案³) 以外は著者製作・撮影)

表1 アンケート内容

平成 29 年度 スモッキングについてのアンケート 平成 29. 07. 12(水)

チェックの布と刺繍糸での基礎技法の体験・習得後にアンケートの記入をし、提出して下さい。

I. スモッキングについて

1. サンプル製作前に名前を知っていたか (はい・いいえ)
2. この技法はどうでしたか (簡単であった・難しかった)
3. 簡単であったと答えた場合は、どのような点にそう感じたかを記入して下さい。
4. 難しかったと答えた場合は、どのような点が難しかったのかを記入して下さい。
5. この技法の可能性を記入して下さい。

II. ラティス・スモッキングについて

1. サンプル製作前に名前を知っていたか (はい・いいえ)
2. この技法はどうでしたか (簡単であった・難しかった)
3. 簡単であったと答えた場合は、どのような点にそう感じたかを記入して下さい。
4. 難しかったと答えた場合は、どのような点が難しかったのかを記入して下さい。
5. この技法の可能性を記入して下さい。

III. 「被服実習」の教材として、中学生、高校生が製作可能と思われる服飾品や小物をデザインして下さい。何点でも可。(例えば、タンクトップ、ティッシュケースカバー、小物入れ など)

ご協力をありがとうございました。

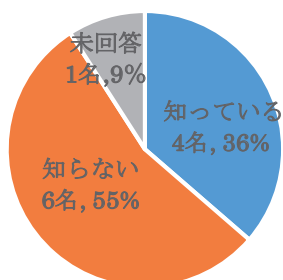


図3-1 スモッキング名称
n = 11

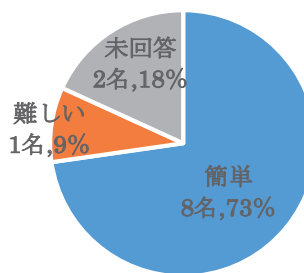


図3-2 スモッキング技法
n = 11

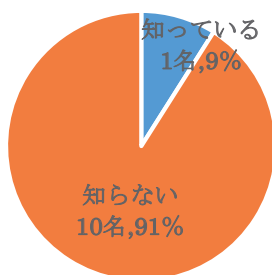


図4-1 ラティス・スモッキング名称
n = 11

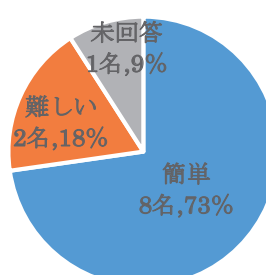


図4-2 ラティス・スモッキング技法
n = 11

表2 教科書の製作実習のまとめ

教科書 開隆堂	製作実習	製図・縫製の 形状	応用・展開例 *左の各製作実習に対応	発展内容
中学校用 「技術・家庭 家庭分野」	1. 道具入れ ○ 2. ショルダーバッグ ○ 3. ファイルカバー ○ 4. ペットボトルホルダー ○ 5. 防災リュック ○ 6. ハーフパンツ △	直線 直線 直線 直線 直線 曲線あり	ウォールポケット、カフェエプロン まちありショルダーバッグ ブックカバー	ユニバーサルファッション、リ・ファッション、国際的な視点から見た衣生活
高等学校用 「家庭基礎」	1. エソイング 箸入れ ○ 2. エソイング ソーイングケース ○	直線 直線		環境に配慮した製作
高等学校用 「家庭総合」	1. ハーフパンツ △ 2. はっぴ △ 3. エプロン △ 4. ソーイングケース ○ 5. ペンポーチ ○	曲線あり 曲線あり 曲線あり 直線 直線	甚平 箸入れ	リフォーム、ユニバーサルファッション、エンカルファッション
計	○:物入れ系 9件(69%) △:被服系 4件(31%)	直線 9件(69%) 曲線あり 4件(31%)		



図7 スモッキング作品 ハンカチケース、大人用前掛け、幼児用サマードレス (著者製作・撮影)



図8 小花や葉の刺繍
(図7の部分拡大、著者製作・撮影)

5. 結語

2017年9月20日付「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案－教員養成の立場から－」日本学術会議編の提言には、家庭科担当教員を対象に行った調査を分析し、大多数の教員には「得手」「不得手」があり、教員間の授業内容に偏りが生じ、それを懸念していることが指摘されている⁴⁾。加えて、西田が「家庭科の教師も削減される時間数の中で、教材の選択に悩んでいるのが現実だ。しかし体験学習から得られる教育的効果は大きいものがあり、学生は自分が作った作品への思い入れは熱く、ランチオンマットも弁当袋も大事に使っているとの感想がほとんどである。(中略)製作体験や製作技術を活かし、資源の有効活用をするというエコライフの立場からも、物を大切に出来る生活者を育てることは意義深いことである。家庭科教育の果たす役割は大きなものがある。」⁵⁾と指摘しているように、また、「障害の有無や体型の違い、年齢にとらわれずに着心地よくおしゃれを楽しむという衣服面でのバリアフリーを考慮したユニバーサルファッション」「環境保全や社会的に公正な取引がされている衣服の製造・販売方法のエシカルファッションを理解する力」「活用されていない衣服や小物を他のものに作り変える環境に配慮した製作を視野に入れたり・ファッション、リフォームが出来る力」「ファストファッションの生産方法や背景を国際的な視点から見た衣生活を考える力」などにも対応できる様々な能力を身に付け、発信できる家庭科教員が求められていることから、本学においても、学科・科を問わず、家庭科教員を目指す学生たちにより正確な知識と技法を伝達していく必要性と、豊富な引出しを持つ実力のある教員を養成するという責任を負っていることをあらためて意識することとなった。

小規模なアンケートの実施ではあったが、一般的な手芸技法であると考えていたスモッキングに対して、“知らない”という回答が多かったことが数字に表れ、残念な現実が突き付けられた。それは、一つの技法に限定されずに、手芸全体に通じることと普段の授業を行う中で薄々感じていたことは確かであった。理由としては、「実習の経験が少ないこと」「機械製の刺繍が流布し、手刺繍の作品を目にしたたり、購入する機会が少ないこと」「手刺繍の作品は、手入れが大変であるという少しの誤解が生じているため」と分析するが、通常の限られた大学・短期大学部での15回の授業時間の有効利用を考え、より効果的に伝達する術を探っていくきっかけが得られたと前向きに捉えよう。

そして、本研究をまとめるにあたり、教員養成課程科目(栄養科中学校家庭科教免2種の必修科目)「被服実習」における手芸的な可能性を追求し、科目を担当する意義を熟考する良い機会となった。現状を分析した上での製作につながり、手芸技法を用いた製作実習は裾野が広く、大きな可能性が秘められていることを確認した。手始めにスモッキングを取り上げたが、今後は他の技法にも範囲を広げ、製作実習の作品にプラスαを加えながら、教職課程を履修する学生に多くの知見と内容を伝えていこう。未来を担う中学生や高校生が家庭科を学習するなかで、自らの手を動かし、目的をもって何かを作り上げるという達成感を得てもらいたい。その経験が、個人の自信や人間らしく成長することにつながる必要不可欠な学びとなり得るとことと大いに期待を込めながら、そのための家庭科教員養成に専門性をもって向き合いたい。

引用文献

- 1) 月生活やモノづくりの学びネットワーク 参加案内パンフレット
- 2) 手芸テキスト 生田光子・見藤妙子・佐藤慶子 東京家政大学手芸研究室 出版年不詳 pp.36
- 3) 文化ファッション大系服飾関連専門講座(8)手芸 文化服装学院編 2004年4月 pp.128-133
- 4) 提言 生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案－教員養成の立場から－
日本学術会議 健康・生活科学委員会 家政学分科会 2017年9月20日
- 5) 西田順子 家庭科教育法における製作活動の教育的意義 樟蔭教職研究1号 2016年12月 pp.79-86

参考文献

- ・生活やものづくりの学びネットワーク 冊子 2014年3月版
- ・技術・家庭 家庭分野 開隆堂 平成29年2月
- ・家庭基礎 明日の生活を築く 開隆堂 平成29年3月
- ・家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂 平成29年3月
- ・早わかり&実践 新学習指導要領解説中学校技術・家庭 家庭分野 開隆堂 2017年10月

謝辞

アンケート調査にご協力いただいた平成29年度手芸研究室ゼミ生の皆さんに感謝いたします。